

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2019年 5月 14日作成

研究課題名	当院のデータベースを用いた双胎妊娠における適正体重増加量の検討
研究の対象	2006年1月1日から2018年12月31日までに当院で分娩した双胎妊娠の方
研究目的 ・方法	<p>妊娠中の体重増加量が少ないと早産や標準よりも小さく出生する児の増加につながり、逆に多すぎると巨大児や帝王切開分娩の増加や妊娠糖尿病や妊娠高血圧症の増加との関連も指摘されています。双胎妊娠における適切な体重増加量は厚生労働省からは示されておらず、米国医療局の推奨はありますが、これは米国人の妊婦を対象に設定されたものであり、体格、人種が異なる日本人の妊婦にそのまま当てはめることはできません。そこで本研究では日本人女性における双胎の妊婦の適切な体重増加量を検討することを目的としています。</p> <p>当院で分娩された双胎妊娠の方の診療情報を後方視的に解析することで、日本人女性における双胎妊娠の適切な体重増加量を検討します。</p>
研究期間	西暦 2019年 7月 10日～ 西暦 2021年 3月 31日
研究に用いる 試料・情報 の種類	<ol style="list-style-type: none">1) 患者基本情報：年齢、身長、体重、経妊回数、経産回数、既往歴、嗜好歴（アルコール、たばこ）妊娠前合併症、妊娠方法、母体搬送の有無2) 血液検査3) 尿検査4) 超音波所見5) 母体妊娠中～産後健診までの合併症6) 妊娠中～産後健診までの使用薬剤7) 胎盤病理学的所見（大きさ、膜性診断、絨毛膜羊膜炎の有無、胎盤の形態異常）8) 母体転帰：分娩方法、出血量、輸血の有無、分娩時合併症9) 新生児転帰：在胎週数、NICU入室の有無、児体重、児身長、アプガースコア（1分値、5分値）臍帯動脈血ガス値、新生児合併症

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設研究用）

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57

横浜市立大学附属市民総合医療センター 総合周産期母子医療センター（研究責任者）小畑聡一郎

電話番号：045-261-5656（代表） FAX：045-253-5784